

AKAI[®]
PROFESSIONAL

MPC LIVE

クイックスタートガイド
日本語（2-6）

付録

クイックスタートガイド（日本語）

はじめに

特徴

- コンピューター不要のスタンドアロン動作
- 7" (18 cm) フルカラー・マルチタッチディスプレイ
- 内蔵リチウムイオン電池
- MPC 2.0 ソフトウェアのコントローラーとして動作
- グランド・ベグ付きのフォノ入力
- 2系統の MIDI 出入口
- 16 GB のオンボード・ストレージ (10 GB 以上のサウンドコンテンツを含む)
- 2 GB のサンプリング用 RAM
- SD カードスロット
- ユーザーが拡張可能な 2.5 インチ SATA ドライブコネクタ (SSD または HDD)
- サムドライブまたは MIDI コントローラー用の 2 基の USB-A 3.0 スロット

同梱品

MPC Live 本体	ソフトウェアダウンロード・カード (英文)
電源アダプター	クイックスタートガイド
USB ケーブル	安全および保証マニュアル (英文)

重要: akai-pro.jp にアクセスし、MPC Live の Web ページでユーザーガイドをダウンロードしてください。

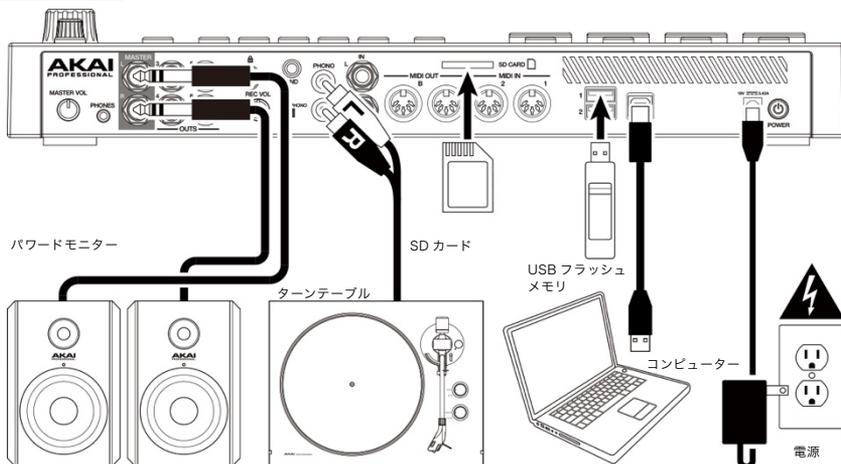
サポート

この製品に関する最新情報 (ドキュメント、技術仕様、システム要件、互換性情報など) については、akai-pro.jp をご覧ください。

追加の製品サポートについては、akai-pro.jp/support をご覧ください。

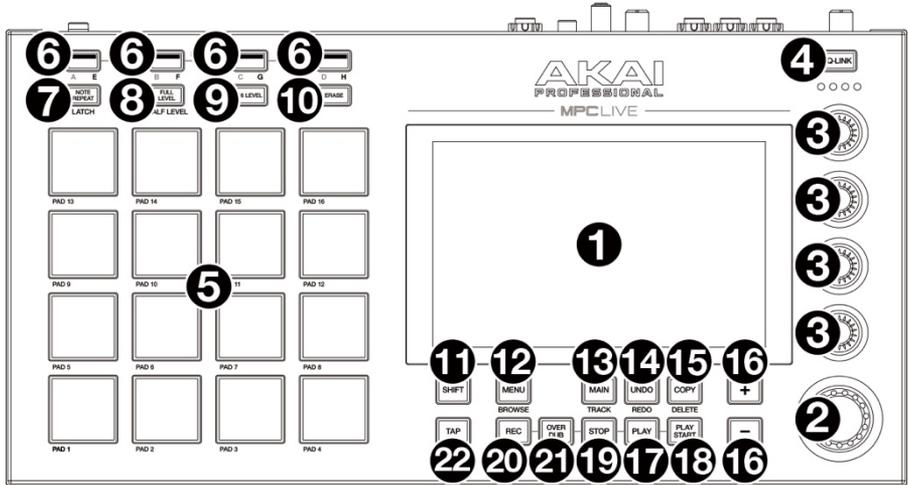
接続ダイアグラム

[はじめに](#) > [同梱品](#) に記載されていない項目は別売となります。



機能

トップパネル



- ディスプレイ：**フルカラー・マルチタッチディスプレイは、MPC Live の現在の操作に関連する情報を表示します。ディスプレイに触れて（ハードウェア・コントロールを使用して）MPC インターフェイスをコントロールします。いくつかの基本的な機能を使用する方法については、**操作**を参照してください。
- データダイヤル：**このダイヤルを回すと、利用可能なメニューオプションをスクロール、またはディスプレイ内の選択したフィールドのパラメーター値を調整できます。
- Q-Link ノブ：**これらのタッチセンサー式ノブを回して、さまざまなパラメーターや設定を調整します。ノブは、一度に1つのパラメーターの列を制御できます。Q-Link ノブの上にあるライトは、現在選択されている列を示します。これらの上の**Q-Link** ボタンを押して、現在制御しているパラメーターの列を変更します。
- Q-Link ボタン：**Q-Link ノブが現在コントロールしているパラメーターの列を変更します（Q-Link ノブの上のライトで示されます）。ボタンを押すたびに次の列が選択されます。

Shift キーを押したままこのボタンを押すと、前の列が選択されます。

- パッド：**これらのパッドを押して、ソフトウェアのドラムヒットやその他のサンプルをトリガーします。パッドはベロシティ感知、および感圧性であり、演奏に対して即座に反応するため直感的な演奏が行えます。パッドは、演奏する強さに応じて、さまざまな色に点灯します（低ベロシティ時の黄色から高ベロシティ時の赤まで）。また、点灯する色はカスタマイズすることもできます。
- パッドバンクボタン：**これらのいずれかのボタンを押してパッドバンク A~D にアクセスします。Shift キーを押しながらこれらのボタンを押すと、パッドバンク E~H にアクセスできます。もしくは、これらのボタンを2度押します。
- Note Repeat/Latch：**このボタンを押しながらパッドを押すと、パッドのサンプルが繰り返してトリガーされます。繰り返される速度は現在のテンポと時間補正の設定に基づいています。

Shift キーを押したままこのボタンを押すと、ノートリピート機能が「ラッチ」されます。ラッチ時には、Note Repeat ボタンを押し続ける必要はありません。もう一度**Note Repeat**を押して、アンラッチします。

8. **Full Level/Half Level** : このボタンを押すと、フルレベル機能が有効/無効化されます。有効時には、演奏する強さに関わらず、パッドは常に最大ベロシティ（127）でサンプルをトリガーします。

Shift キーを押したままこのボタンを押すと、ハーフレベル機能が有効/無効化されます。有効時には、パッドは常にサンプルを半分のベロシティ（64）でトリガーします。

9. **16 Level** : 16 レベル機能を有効/無効化します。有効時には、最後にヒットしたパッドがすべての16個のパッドに一時的にコピーされます。パッドは元のパッドと同じサンプルを再生しますが、使用する力の大きさにかわらず、パッド番号ごとに選択可能なパラメーターの値が増加します。

10. **Erase** : シーケンスが再生されているときに、このボタンを押したままパッドを押すと、現在の再生位置のパッドのノートイベントが削除されます。これにより、再生を停止することなくシーケンスからノートイベントを簡単に削除できます。

11. **Shift** : このボタンを押しながらいくつかのボタンを押すと、2次機能（グレー文字で表示）にアクセスします。

このボタンを2度押しすると、2次機能を持つボタンが表示されます。ボタンは、数秒間点滅します。

12. **Menu/Browse** : モードメニューが開きます。メニュー画面でオプションをタップすると、そのモードに入ったり、表示したりすることができます。

Shift キーを押したままこのボタンを押すと、ブラウザーが表示されます。ブラウザーを使用して、プログラム、サンプル、シーケンスなどをロケート、選択することができます。

13. **Main/Track** : メインモードに入ります。

Shift キーを押したままこのボタンを押すと、トラックビュー・モードに入ります。

14. **Undo/Redo** : 最後の操作が取り消されます。**Shift** キーを押したままこのボタンを押すと、元に戻した最後の操作がやり直されます。

15. **Copy/Delete** : このボタンを押すと、あるパッドを別のパッドにコピーできます。**From Pad** フィールドが選択されたら、ソースパッド（コピーしたいパッド）を押します。（すべてのパッドの）**To Pad** グラフィックが選択されたら、コピー先のパッドを押します。複数のコピー先パッドを選択でき、異なるパッドバンクのパッドを選択することもできます。続行するには **Do It** を、前の画面に戻るには **Cancel** をタップします。

Shift キーを押しながらこのボタンを押すと、削除されます。

16. **-/+** : ディスプレイで選択したフィールドの値を増減します。

17. **Play** : オーディオポインターの現在の位置からシーケンスが再生されます。

18. **Play Start** : シーケンスが開始点から再生されます。

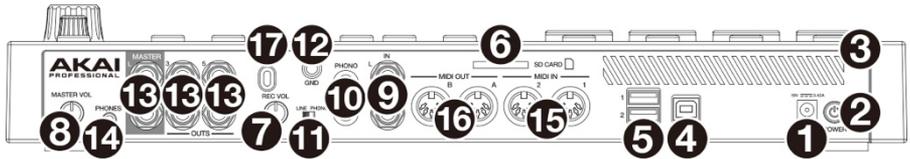
19. **Stop** : 再生を停止します。2度押しした場合には、ノートの再生停止後に、鳴り終わっていないオーディオを消すことができます。

20. **Rec** : シーケンスの録音準備をするには、このボタンを押します。**Play** または **Play Start** を押して録音を開始します。（**Overdub** を使用するのではなく）この方法で録音すると、現在のシーケンスのイベントは消去されます。録音中にシーケンスが一度再生されると、オーバーダビングが有効になります。

21. **Overdub** : オーバーダブを有効にします。以前に録音したイベントを上書きすることなく、イベントをシーケンスに録音することができます。オーバーダブは、録音の前または途中で有効にすることができます。

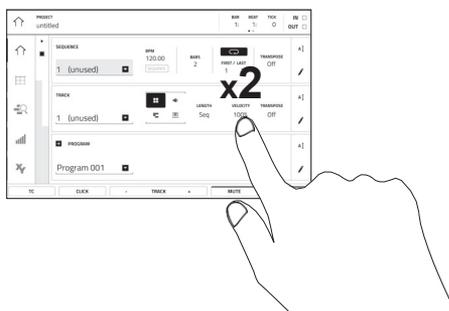
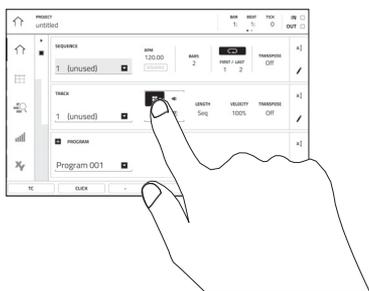
22. **Tap Tempo** : 希望のテンポに合わせてこのボタンを押すことで、ソフトウェアに新しいテンポ（BPM）を入力することができます。

リアパネル

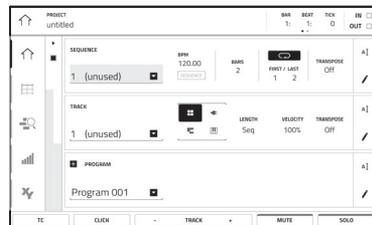
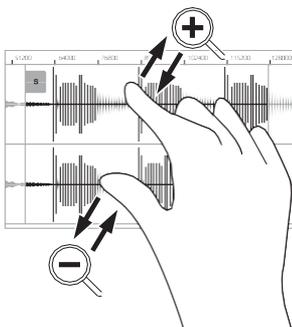


- 電源入力：**付属の電源アダプターを使用し、MPC Live を電源コンセントに接続します。また、USB ポート経由で MPC Live に電源を供給することもできますが、ディスプレイは無効になります。
- 電源スイッチ：**MPC Live の電源をオンまたはオフにします。
- 充電インジケータ：**MPC Live の内蔵バッテリーが充電されているとき（電源入力がコンセントに接続されているとき）、このライト（排気口の後ろ）が点灯します。バッテリーが完全に充電されているときは、または電源コンセントから外されているときは、このライトは消灯します。
- USB-B ポート：**付属の USB ケーブルを使用して、高保持力の USB ポートをお使いのコンピューターの利用可能な USB ポートに接続します。これにより、MPC Live はコンピューター上の MPC ソフトウェアと、MIDI データおよびオーディオデータを送受信できるようになります。
MPC Live は USB ポートで電源を供給できませんが、ディスプレイは無効になります。
- USB-A ポート：**USB フラッシュドライブをこれらの USB ポートに接続して、MPC Live で直接ファイルにアクセスします。
- SD カードスロット：**標準の SD または SDHC カードをこのスロットに挿入して、MPC Live で直接ファイルにアクセスします。
- Rec Vol：**入力の音量を調節します。
- Master Vol：**出力とヘッドホン出力の音量を調節します。
- Inputs (1/4" / 6.35 mm)：**これらの入力をオーディオソース（マイク、ミキサー、シンセサイザーなど）に接続するには、標準の 1/4 インチ (6.35 mm) の TRS ケーブルを使用します。サンプル録音モードでは、いずれかのチャンネルをステレオで録音するか、または両方のチャンネルをモノラルで録音するかを選択できます。これらの入力を使用するには、**Line/Phono スイッチ**を **Line** に設定します。
- Inputs (RCA)：**これらの入力をターンテーブルのようなフォノレベルのオーディオソースに接続するには、標準の RCA ステレオケーブルを使用します。サンプル録音モードでは、いずれかのチャンネルをステレオで録音するか、または両方のチャンネルをモノラルで録音するかを選択できます。これらの入力を使用するには、**Line/Phono スイッチ**を **Phono** に設定します。
- Line/Phono スイッチ：**使用する入力に応じて、このスイッチを適切な位置に設定します。RCA 入力を使用している場合は、このスイッチを **Phono** に設定して、フォノレベル信号に必要な追加増幅を行います。CD プレイヤーや、サンプラーなど、1/4" (6.35 mm) 入力を使用している場合は、このスイッチを **Line** に設定します。
- アース端子：**アース線付きのフォノレベルのターンテーブルを使用する場合は、アース線をこれらの端子に接続してください。「ハム」や「バズ」が発生している場合、ターンテーブルが接地されていない可能性があります。
注：一部のターンテーブルには RCA 接続にアース線が組み込まれています。その場合には、特にアース端子には何も接続する必要はありません。
- Outputs (1/4" / 6.35 mm)：**これらの出力をモニター、ミキサーなどに接続するには、標準の 1/4 インチ (6.35 mm) TRS ケーブルを使用します。**Master L/R** 出力は、**Outputs 1、2** と同じです。
- Phones (1/8" / 3.5 mm)：**標準の 1/8 インチ (3.5 mm) ステレオヘッドフォンをこの出力に接続します。
- MIDI In：**この入力を外部 MIDI 機器（シンセサイザー、ドラムマシンなど）の MIDI 出力に接続するには、標準の 5 ピン MIDI ケーブルを使用します。
- MIDI Out：**この出力を外部 MIDI 機器（シンセサイザー、ドラムマシンなど）の MIDI 入力に接続するには、標準の 5 ピン MIDI ケーブルを使用します。
- ケンジントン® ロック スロット：**このスロットを使用すると、MPC Live をテーブルや他の表面に固定することができます。

ここでは、MPC Live のディスプレイの基本的な使用方法について紹介します。



ボタンまたはオプションをタップして選択します。ボタンをダブルタップすると、高度な編集オプションにアクセスできます。場合によっては、値を入力用のテンキーパッドが表示されます（データダイアルまたは $-/+$ ボタンを使用して、設定や値を変更します。データダイアルまたは $-/+$ ボタンの代わりに、ディスプレイの左上部分をタップすると、前の画面に戻ります。



2本の指を広げて拡大します（例：波形の一部分など）。縮小するには2本の指を挟みます。

ディスプレイの上部にはツールバーが表示されます。ツールバーには現在のビューに関する情報（現在のトラック、シーケンス、オーディオ・ポインターの位置など）が表示されます。項目をタップして選択します。

ディスプレイ下部には、現在のビューで使用できるさまざまなボタンが表示されます。ボタンをタップして押します。

前のビューに戻るには、現在表示されているウィンドウの外側をタップするか、ディスプレイの左上部分で左矢印 (\leftarrow) をタップします。

付録（日本語）

技術仕様

パッド	(16) ベロシティー、感圧式パッド、RGB バックライト (8) バンクアクセス可能（パッドバンク経由）
ノブ	(4) 360° タッチセンシティブ Q-Link ノブ (4) Q-Link ボタンで列アクセス可能な Q-Link ノブ (1) 360° ディスプレイ・ナビゲーション用、プッシュ選択機能付きエンコーダー
ボタン	(22) 専用機能ボタン; 赤、 オレンジ、 または緑色バックライト
ディスプレイ	6.9" / 176 mm（対角） 5.9" x 3.7" / 150 x 93 mm（幅 x 高さ） タッチ・インターフェイス付き フルカラー LED バックライト付ディスプレイ
CPU	プロセッサ ： 1.8 GHz クアッドコア ARM® Cortex® A17 プロセッサ RAM ： 2 GB ストレージ ： 16 GB（ユーザーストレージ、 10 GB プリインストール・コンテンツ）、 4 GB（MPC オペレーティングシステム）
端子	(2) 1/4"（6.35 mm）TRS 入力（1 ステレオペア） (6) 1/4"（6.35 mm）TRS 出力（3 ステレオペア） (1) 1/8"（3.5 mm）ステレオヘッドフォン出力 (2) RCA 入力（1 ステレオペア） (2) 5 ピン MIDI 入力 (2) 5 ピン MIDI 出力 (2) USB Type-A ポート (1) USB Type-B ポート (1) SD カードスロット (1) 電源アダプター入力
電源	電源アダプター経由： 6 VDC、 3 A、 センタープラス バッテリー経由： リチウムイオン、 充電式、 最大 4 時間の動作
サイズ （幅 x 奥行 x 高さ）	16.7" x 8.8" x 2.7" 424 x 224 x 69 mm
重量	5.9 lbs. 2.7 kg

仕様は予告なしに変更されることがあります。

RF 警告： 本機はモバイルデバイスです。送信機の放射構造と身体および近くの他の人との距離を少なくとも 8 インチ / 20 センチメートル離してください。

商標とライセンス

Akai Professional および MPC は、inMusic Brands, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。ARM および Cortex は、ARM Limited（またはその子会社）の EU またはその他の国における登録商標です。SD および SDHC は、SD-3C、LLC の登録商標です。他のすべての製品名、会社名、商標、または商号は、それぞれの所有者のものであります。

AKAI
PROFESSIONAL

akai-pro.jp

マニュアルバージョン 1.1